



たまて箱

～たまな市議会だより～



令和4年
9月定例会
令和4年11月1日発行
NO.68

表紙イラスト:「五重塔」

玉名女子高等学校 ビジネス科アニメデザインコース 3年 中村 美羽舞 さん

9月定例会では、市長提出議案9件（補正予算5、条例2、人事1、その他1）を可決、同意した。主な補正は、原油・物価高騰による支援や新型コロナ対策であった。議員提出議案3件（決算特別委員会の設置、議会の委員会条例及び会議規則の改正）を全会一致で可決した。



物価高騰対策として
非課税世帯等へ5万円を給付
5億878万円



畜産飼料・被覆資材高騰による経営支援
1億2,939万円





食材等の物価高騰による給食賄費の支援
保育所等 793万円
小中学校 1,355万円



天水グラウンド法面整備工事
5,149万円



JR玉名駅屋外トイレの設置工事
1,742万円



ウクライナ避難民への支援
(渡航費用・住環境の整備)
619万円

決算特別委員会 委員

(令和4年9月2日 選任)			
委員長	江田	計司	
副委員長	吉田	真樹子	
委員	大野	豊重	
委員	中村	慎吾	
委員	浜田	繁次郎	
委員	瀬崎	剛	
委員	田浦	敏晴	
委員	山下	桂造	
委員	立川	信之	
委員	多田	隈啓二	
委員	松本	憲二	
委員	西川	裕文	
委員	前田	正治	
委員	中尾	嘉男	
委員	田畑	久吉	

人 事

★教育委員会委員に任命

(敬称略)

かんだ

神田

いずみ

泉

令和4年 第5回定例会 議案の審議結果

全会一致で可決、同意した議案

議番号	議 案 名
議第67号	令和4年度玉名市一般会計補正予算(第4号)
議第68号	令和4年度玉名市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
議第69号	令和4年度玉名市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
議第70号	令和4年度玉名市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
議第71号	玉名市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の制定について
議第72号	玉名市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議第73号	玉名市過疎地域持続的発展計画の策定について
議第74号	教育委員会委員の任命について
議第75号	令和4年度玉名市一般会計補正予算(第5号)
議員提出第1号	決算特別委員会の設置について
議員提出第2号	玉名市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について
議員提出第3号	玉名市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

議員提出議案 第2号 第3号

～委員会の審査方法と開催方法が変わります～

Q なにが変わる？

A ①予算決算委員会を新設

②オンラインでの委員会出席(特例)



Q なぜ変わる？

A ①全議員で予算決算を審査するため(詳しくは10～11ページを参照)

②新型コロナなどの重大な感染症のまん延防止のため、オンラインによる委員会出席を特例で認める



質問 農業を成長産業にする戦略は。厳しい環境に効果的な計画見直しを期待したい

農業を取り巻く環境は、昨今の価格高騰の影響で非常に厳しい。今年は市の10年計画「食料・農業・農村基本計画」の中間見直しの年である。農業の成長に向けた明確な戦略と計画見直しの重要ポイントは。また、今後の計画審議会は進むのか。

産業経済部長 高い競争力と魅力ある農業を確立し、実効性のある施策を図る

戦略としては、担い手へのソフト面の支援や基盤整備等のハード面の対策強化を図り、地産地消を更に進める。計画は、社会情勢の変化や国・県等の動向に応じた目標値の変更に力点を置き見直す。今後の計画審議会の進め方は、農業者をはじめとする



▲平成29年に策定した「食料・農業・農村基本計画」

学識経験者や各種団体及び関係機関で構成する基本計画審議会を開催し、これまで取り組んできた各施策の達成状況等を点検・評価した上で必要な改善を加え本市ホームページで公表する。



その他の質問

- 自転車の安全利用

質問 思春期・成長期の子どものために、学校トイレに生理用品の設置を

10月から県立学校でも、トイレなどに生理用品を設置。学校教育のあり方や方針があると思うが、心身の負担軽減、ジェンダー平等、経済的困難など、あらゆる視点から考えてみては。安心して学校生活が送れるよう、女子の個室トイレへ設置を切望する。

教育部長 これまでどおり、児童生徒が自ら準備して使用することを基本（保健室には常備）

学校は、児童生徒が自ら考え、行動できる力を育成する場であり、自立支援の観点から、自分の体について自ら考え、自ら生理用品を準備することを今後も基本としていく。現在、1小1中で試行を始めており、



▲生理用品を試験的に設置している玉陵中学校女子トイレ個室

教育的効果を検証する。ただし、生理用品をトイレに置くことには、デメリットもある。「必要な物を自由に使えるようにしてあげる」と、「自立した大人になるため、困ったときは養護教諭等に頼れるようになって欲しいと導くこと」の、どちらが真の優しさ・教育だろうか。



その他の質問

- 玉名市への移住・定住

質問 価格転換ができず経営難な農水産業に対し、理解ある市の支援策を世界的情勢変動による生産資材の高騰は、農林水産業にも大きな影響を与えている。価格が市場で決まるため、他の業種と異なり独自の価格転換もできない。この状況を見据えた市の支援策は。また、予算面で国や県に対する働きかけは行うのか。

産業経済部長 市長 国や県にも予算措置を働きかけながら、有効な支援策を引き続き事業展開していく

今後も厳しい経営状態が続くとなれば、きめ細かく速やかな市の独自支援策がますます重要となる。これまでの事業継続も含め、真に必要とされる有効な支援策を引き続き積極的に事業展開していく。限られた市の予算で、切れ目の無い支援



を行うには厳しい面がある。農林水産業の経営安定や持続的発展のために、農協・漁協と連携し、必要な予算措置等を国・県等に働きかけていく。



その他の質問

- 交流人口増加への施策
- 公共施設の民営化

総務

9月16日開催

屋外トイレで不便解消へ

質問 玉名駅屋外トイレ整備事業では、駅西側の駐輪場にトイレを設置することだが、土地所有者は誰が。また、建設敷地面積は。

答え 土地の所有は、玉名市の管理区域となっている。建設敷地面積は、約23㎡を予定している。



▲屋外トイレを設置予定のJR玉名駅西側の駐輪場

玉南地域は天水エリア拡大で対応を

質問 天水地域の乗合タクシーに関連して、今後、玉南校区での乗合タクシーの運行計画はあるのか。

答え 天水地域の乗合タクシーエリアを拡大する方向で、令和6年4月の運行開始を目指す。今後、関係団体及び地域住民と協議をして進めていきたい。

建設経済

9月20日開催

修繕の分担は協定書に定めあり

質問 天水郷〇市の指定管理協定書の中身や軽微な修繕はどのように対応するのか。

答え 基本協定書と年度協定書があり、基本協定のリスク分担の中で、経年劣化による5万円未満の小規模な修繕等は指定管理者側で行うこととしている。

畜産飼料の支援対象と金額は

質問 畜産飼料・農業用被覆資材購入緊急支援事業のうち、畜産飼料に係る件数と積算内訳は。

答え 畜産農家は、市内に25経営団体ある。確定申告に基づく昨年中の飼料購入額を把握した上で、本年中の飼料購入額が5,000万円までが150万円、1億円までが300万円、1億5,000万円までが450万円、1億5,000万円以上が600万円と4段階に分けて上限額を設け予算化している。



▲市内の畜産農家

文教厚生

9月21日開催

早い時期から学習支援に取り組む

質問 低学年わくわく学習支援員配置事業で、4名を採用するとあるが、現在配置されている支援員との違いは。

答え 今回は、低学年（1・2年生）限定の学習補助に係る支援員であり、現在配置している支援員（特別支援教育に係る支援員）とは目的が異なる。学習への苦手意識をもつ子どもの中には、低学年の段階で学習につまずいているケースもあることから、その解消を目的としており、今後、小学校4校に配置する予定。



▲保育園で給食を食べる園児ら

給食費支援の対象となる園とは

質問 食材費高騰による保育園への給食費支援は、幼稚園や認定こども園も対象となるのか。（幼稚園と聞くとお弁当持参のイメージがあるが）

答え 市内の幼稚園は、おおくらの森と横島の2つのみで、現在はどちらも給食制のため支援を行う。また、認定こども園も給食制のため支援対象である。

質問 鍋松原海岸に誘客を。官民連携での通年型イベントを仕掛けてはどうか

鍋松原海岸は、潮湯・磯の里・ビーチなど一体的な施設があり誘客効果が期待できる。年間を通じたスポーツやアウトドア活動などのイベントを、官民連携で企画運営することで活用に繋がると考えるが、この仕掛けで活性化に取り組んでは。

市長 現在開催しているイベント等は継続的に実施し、年間を通して誘客に努める

鍋松原海岸は、大きな特徴である広大な人口ビーチや全国的にも珍しい海水を沸かした温泉施設、海岸からの素晴らしい眺望などを有した熊本県北地域において唯一無二の観光資源であると捉えている。



▲県北唯一の人工ビーチ「鍋松原海岸」

今後は、一体的な活用を目指し、複数で管理する庁内体制を一つの担当課に集約して、現在活用しきれていない場所も含め、砂浜を中心とした松原海岸全体の更なる活性化を進める。



その他の質問

- GIGAスクール構想の運用
- DX(デジタルトランスフォーメーション)推進



質問 集団での学びは大事。学校教育の更なる充実に向け、見直された学校再編等を聞く

学校規模・配置適正化基本計画策定から10年。今回見直した点や今後の考えは。
①1次計画との相違点。②玉名中学校区以外の学校再編を、1小1中から変更した意図。③学級規模に対する考え。④中学生の数も減少傾向だが、中学校再編の方向性は。

教育長 第2次基本計画では、よりよい教育環境を提供できるよう現実的な計画に見直しした

①「2小1中」で再編を進める中学校区がある点。5年後を目途に計画見直しを行う点。1学級20～30人の2学級以上が望ましいとしながらも、学年2学級以上が見込めない場合は、学級20～30人の確保は必要とした点。②児童数の推移等を見極めた上で、



▲小学校の授業で、発表しあう児童ら

有明中と岱明中校区は当面の間「2小1中」とし、現実的な計画に見直しした。③集団での教育活動ができ、なおかつ切磋琢磨できる数として1学級20～30人が望ましい。④まずは小学校再編から進める。今後10年間は中学校の再編予定はない。



その他の質問

- 桃田運動公園の陸上競技場



質問 行政文書のペーパーレス化と機密文書の処理には、環境保全に繋がる方法の導入を

令和2年9月の一般質問答弁では、機密文書は焼却処理しており、溶解処理する自治体もあるとのこと。その後ペーパーレス化は進んだか。また、10年で約30億円の焼却炉補修維持費を考えると、溶解処理して環境保全に繋がる方法を導入してはどうか。

総務部長 様々な点から有益である溶解処理の導入について前向きに検討していく

令和2年11月からタブレットを導入し、部課長で構成される会議は原則ペーパーレスを実施している。また、個人情報等を含む公文書の処理方法は、焼却炉の負担軽減による延命化のほか、個人情報保護及び事



▲文書が溶解処理される様子

務効率化、更にはゴミの再資源化の点からも溶解処理が有益であると考えられる。よって、次年度以降の導入については、必要経費の試算や分析を行い前向きに検討していく。



その他の質問

- 鍋松原海岸及び本市における水遊びの場



質問 子どもたちが猛暑の夏でも楽しく過ごせる水遊びの場を

夏休みのプール遊びは、子どもたちの楽しみの一つ。ただ近年、学校プールは監視員の確保ができず開放されない学校もあるようだ。そのような中、市民プールも閉鎖された。今後の市民プールの在り方は。また、水遊びのできる公園などを作る考えはあるか。

教育部長 建設部長 市民プールの今後の在り方は現在検討中。また、水遊びのできる空間を含め考えたい

桃田運動公園市民プールはおよそ33年経過し、経年劣化による老朽化と新型コロナ感染拡大防止により、今年度も開設していない。現在、プールの在り方検討委員会で、今後の方向性を検討しており、市長へ



▲現在は閉鎖している桃田運動公園市民プール

の提言を踏まえて、総合的に判断していきたい。

また、公園の再編や再整備の際には、幅広い世代のニーズを考慮し、水遊びのできる空間も含め検討していきたい。



その他の質問

- 玉名ふれあい健康センターの今後の在り方



質問 生き生きと学べる教育の場を～不登校の子どもへのサポート体制を聞く～

不登校の児童生徒数が、国や県で8年連続の増加。本市の適応指導教室（タマにゃん教室）での対策は。また、国が認知度向上に努める不登校特例校への認識と、戸田市の活用事例である「メタバース登校」（ネット上の仮想空間での学び場）の見解は。

教育部長 各中学校での適応指導教室や「タマにゃん教室」で支援活動の充実を図っていく

登校できない子どもたちが無理なく通える範囲に学びの場を確保することを目的として設置される「不登校特例校」や学習機会をつくることを目的としたオンライン上の学び場である「メタバース登校」につい



▲玉名市文化センターにある「タマにゃん教室」

ては認識している。市としては、現在各中学校に設置している適応指導教室や「タマにゃん教室」に登校できない子どもたちの居場所の一つとなるよう、支援活動のさらなる充実を図っていきたい。



その他の質問

- 新型コロナウイルス感染症(第7波)に対する対応
- 立願寺ポニー公園存続のための支援等を求める請願の今後の対応



質問 自分たちの未来は自分たちで決める。政治参画の実体験“子ども議会”の充実を

近年、投票率低下が懸念され、期日前投票所の拡大や啓発活動等様々な対策が必要である。なかでも、将来を担う子どもたちには、政治の仕組みや知識習得に加え、実体験の場として子ども議会をもっと活用しては。開催数増、対象者拡大など新たな取組を実施しては。

教育部長 子供たちが政治や選挙への参加意識を高める取組を検討していく

子ども議会は、議会体験を通して市政や地方自治への興味・関心を深めることを目的に、市内の中学生を対象に3年に一度開催。毎年開催による回数増や、高校生参加等の対象者拡大は難しいと考えており、次



▲中学校の生徒が一般質問を行っている子ども議会の様子(平成30年度)

回開催は令和6年を予定。子供たちは社会科の公民の授業の中で、選挙は政治参加への重要な機会であると学んでいるが、今後は政治や選挙への参加意識を高める方法についても検討していきたい。



その他の質問

- 10年ビジョンの改訂

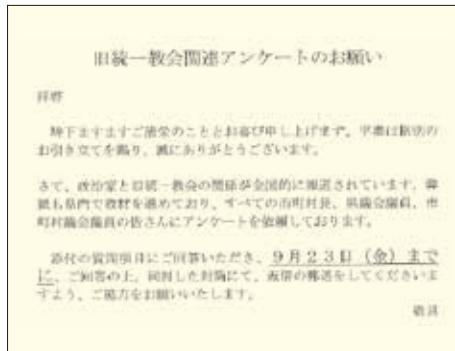


質問 旧統一教会の関連活動「ピースロード」の後援取り消しと市長の認識を問う

文鮮明氏が創設した旧統一教会の関連団体である天宙平和連合の「ピースロード」を、玉名市は後援しているが過去にもあるのか。市民の疑念を払拭するには、後援の取り消しと関わりを持たないことだ。旧統一教会に関する市長の認識と今後の関わりは。

総務部長 市長 市は名義後援を継続することは不適当と判断し承認を取り消した

「ピースロード」に対しては、平成30年度から5か年度、5回にわたって後援を行った。令和4年度分の後援は、市が名義後援を継続することが不適当であると総合的



▲マスコミによるアンケート調査

に判断し、8月2日付けで承認を取り消した。旧統一教会は、社会的に問題があると評価されている団体との認識をしており、今後の関わりについては、慎重に精査し対応する。



その他の質問

- 市政運営について

質問 農産物に被害をもたらす特定外来生物アライグマへの対策は

熊本県内でも、特定外来生物であるアライグマが確認されている。農産物への被害や、家に住み着くと屋根裏はフンで汚染され、人体への被害も懸念される。そのため一刻も早い駆除が求められるが、市の対策は。

産業経済部長 専門家による防除講習会や捕獲関連機器の追加購入で、防除体制の充実を図る

本市ではアライグマの生息は確認されているが、農作物への被害は報告されていない。しかし、隣接自治体等では生息数の増加が確認され、今後の被害が懸念される。そこで、今年度はアライグマ防除の専門家による講習会を開催し、捕獲隊員に対する具体的な捕獲方法の実践指導や地域住民を



▲玉名市でも生息が確認されているアライグマ

対象に生態系の学習を計画。更には、捕獲関連機器として、小型獣用箱わなや生態調査用のセンサーカメラ等を必要に応じて追加購入し、防除体制の充実を図る。



その他の質問

- 政策の取り組み方
- 指定管理者制度

質問 高道小の通学路、危険箇所の改善で児童が安心して登下校できるような対策を

高道小通学路にあるJ A岱明総合支所前交差点の歩道に、待機場所を設置してほしいとの要望がある。他の地区でも横断歩道の整備や信号機設置等を望む声がある。それらに対し、市の対応は。また、玉名町小周辺では、歩行者の安全確保を目的に区域を限定し、時速30キロの速度制限を設ける「ゾーン30」という取組が行われている。安心安全の確保は定住促進にも繋がると考える。

教育部長 通学路の安全確保に関して、関係機関に対し、協議、要望を行っていく

J A岱明総合支所前交差点の歩道待機場



▲通学路を横断する高道小の児童たち

所、横断歩道等については、改善要望をすでに土木課に挙げており、実施内容を土木課など関係課で協議していく。通学路の歩道や横断歩道、信号機設置は、玉名市通学路交通安全プログラムに基づき関係機関と協議、要望を行っていく。



その他の質問

- 潮湯・磯の里の今後と鍋松原海岸について

質問 天水中校区の小学校再編は、地域や保護者の意見が反映された計画となっているか

今年6月に公表された第2次玉名市学校規模・配置適正化計画では、「小天小と玉水小の統合が望ましい」、優先度区分でも「早急な対応を必要とする校区」と示されている。保護者（児童及び未就学児）へのアンケート結果を踏まえ、学校再編の考えは。

教育長 教育部長 保護者アンケート結果と新しい学校づくり委員会の協議を総合的に判断し決定した

今年7月、天水地区の小学生の保護者と未就学児童の保護者を対象にアンケートを実施。その中で、「玉水小と小天小を統合し、学校は現在の中学校の位置とする」との案に、「賛成」「どちらかと言えば賛成」と回答した人が全体の70.3%であった。教育



▲玉水小学校

小天小学校

委員会では、新しい学校づくり委員会の協議結果も踏まえ総合的に判断し、この案を基本方針に決定。今後は説明会等で住民の理解を求めながら、かつ、有利な条件の過疎債を活用し、令和9年4月の統合校開校を目指していく。



質問 市の情報や魅力発信に、動画を活用したシティプロモーションを推進しては

市の認知度やブランド力向上のためには、動画を活用したシティプロモーションの推進が重要であると考え、市の見解は。また、市職員による動画の企画・制作の推進を含め、シティプロモーションの推進体制を整備しては。

企画経営部長 シティプロモーションの重要性は認識しており、推進体制の整備を検討していく

シティプロモーションは、移住政策や観光振興だけでなく、市民の郷土愛の醸成や地域づくりにも繋がることから、重要であると認識しており、動画を活用することで、より効果的に推進できると考えている。ま



▲市職員で制作した「玉名いだてんマラソン」のプロモーションビデオ

た、市職員による動画の企画・制作は、費用対効果の点で財政面での貢献もあるため、状況を見ながら進める。併せて市を積極的にアピールするために、推進体制の整備も検討していく。



質問 重要施策、官民連携による玉名三ツ川産業団地。その進捗状況は

官民連携で進められている産業団地開発と企業誘致は、雇用創出による地域活性化と人口減少抑制が期待される市の目玉事業である。現在、開発が進んでいる玉名三ツ川産業団地の立地企業の現況と今後の対応は。

産業経済部長 今年4月から工事に着工されており、現在、調整池の整備が行われている

本市では、企業立地の促進と産業集積を目的に、民間活力を導入した官民連携による新たな産業用地の確保を重要施策に掲げ事業を推進してきた。開発事業者との協定において、企業誘致活動と予約分譲に関しては、市で行っている。現在9区画のうち3区画の予約が済んでおり、できる限り産



▲開発が進む三ツ川産業団地

業振興及び雇用拡大に繋がる製造業を優先的に誘致する。今後も市ホームページやパンフレットでの情報発信を行い、熊本県などと連携して積極的な誘致を進めていきたい。



その他の質問

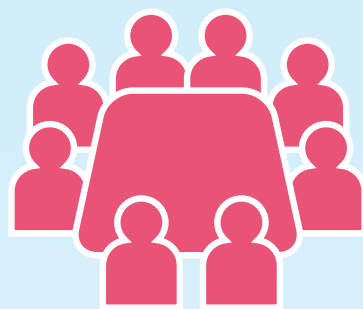
- 玉名未来づくり研究所とたまな未来創造塾



深まる審査で市民の笑顔も**増**

市の予算決算、

これまでは、3つの委員会に分かれて審査



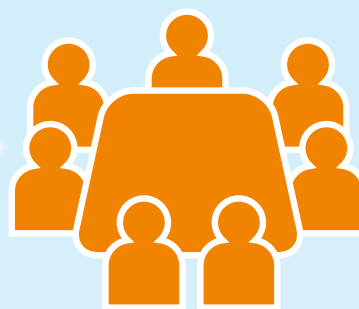
総務

- ・防災
 - ・まちづくり
 - ・税
 - ・財政
 - ・環境 など
- 【定数：8人】



文教 厚生

- ・子育て
 - ・福祉
 - ・介護
 - ・教育 など
- 【定数：7人】



建設 経済

- ・農林水産業
 - ・道路整備
 - ・企業誘致
 - ・水道 など
- 【定数：7人】



新たに『予算決算委員会』始動！

全議員で考えよう

12月定例会から、『予算と決算』を全議員で**審査**

※条例や請願等は、これまでどおり総務・建設経済・文教厚生委員会で審査します。



予算決算委員会

- ・防災
- ・まちづくり
- ・税
- ・財政
- ・環境
- ・子育て
- ・福祉
- ・介護
- ・教育
- ・その他
- ・農林水産業
- ・道路整備
- ・企業誘致
- ・水道

【定数：22人】



県内の状況

14市のうち8市の議会で設置

- ・熊本市
- ・荒尾市
- ・上天草市
- ・合志市
- ・人吉市
- ・菊池市
- ・天草市
- ・山鹿市（12月設置予定）

設置の目的

予算決算は、市民生活に直結した重要な議案です。そこで、すべての議員が参加し、市の事業に対して、多様な意見を出し合い議論する場として設置します。



情報を共有することが議論の前提となる、と考え、総額500億円を超える市の予算決算について、議員全員で審査することとしました。

市長の提案に対し決断する議会の重責をしっかりと果たせるよう更に努力していきます。

議長 近松恵美子

8月10日・菊池市にて

日本遺産の現状を学ぶ ～ 4市町合同議員研修会 ～

菊池川流域の米づくりが平成29年日本遺産に認定され、山鹿・菊池・玉名・和水の議会合同研修を開催。



菊池市歴史教育専門員から日本遺産の現状を聞く議員

米作りを中心とした営みが菊池川流域に繁栄と文化を育んだ。文化財宝庫の玉名地域の歴史を知るとは、おもしろくて興味が膨らむ。国民的財産である文化財は、保存・公開・文化的活用が大事なことを学んだ。「過去を知り今を見て未来を考える」博物館長の言葉を思い出す。

(前田 正治)

表紙のイラスト



玉名女子高等学校
なかむら みほね さん
中村 美羽舞 さん

蓮華院誕生寺奥之院の五重塔を描きました。親しみを持っていただけるようなイラストを意識しました。

議会広報広聴特別委員会

(委員長) 吉田真樹子 (副委員長) 坂本 公司
(委員)

大野 豊重 中村 慎吾 浜田繁次郎
山下 桂造 立川 信之 前田 正治

編集後記

今年もとても暑い夏でした。線状降水帯による大雨の影響で、列島各地で災害が発生、また、新型コロナ第7波の感染者数が、過去最高を記録した夏でもありました。私たちが幼かった頃とは、大きく環境が変わったように感じます。異常気象が当たり前の時代となり、一人一人が防災意識を高く持ち危機管理を行いながら生活をする必要があります。大変な時代ですが、玉名市が安全で住みよい街になるよう努めていきます。

委員 中村 慎吾

☆ホームページのアクセスは、検索画面で を入力してクリック!

この広報紙は再生紙および地球環境にやさしい植物油型インキを使用しています。

8月17日・熊本市にて

地域が元気になるヒントを学ぶ ～ 熊本市議会議員研修会 ～

地域の人々が主役の空間・施設・まちづくりを全国展開。喫茶ランドリー代表の田中元子氏の講演を聞く。



市民会館シアーズホーム夢ホール(熊本市市民会館)での研修の様子

街のいたるところにベンチを置けば、街は活性化する！冒頭でのこの言葉に惹きつけられました。「街の活性化は人口の密度ではなく、どれだけ街に人が出歩くかである」と。本市でも、そのような政策を取っていかなければならないと認識しました。

(坂本 公司)

12月定例会の予定 (10時～)

11月	22日(火)	議会運営委員会
	29日(火)	開会
12月	7日(水)	一般質問
	8日(木)	一般質問
	9日(金)	一般質問
	12日(月)	一般質問(予備日)
	13日(火)	予算決算委員会
	14日(水)	総務委員会
	15日(木)	建設経済委員会
	16日(金)	文教厚生委員会
	21日(水)	閉会

※都合により変更になることがあります。